

第6期先進安全自動車(ASV)推進計画

国土交通省自動車局技術・環境政策課

先進安全自動車（ASV）推進計画について

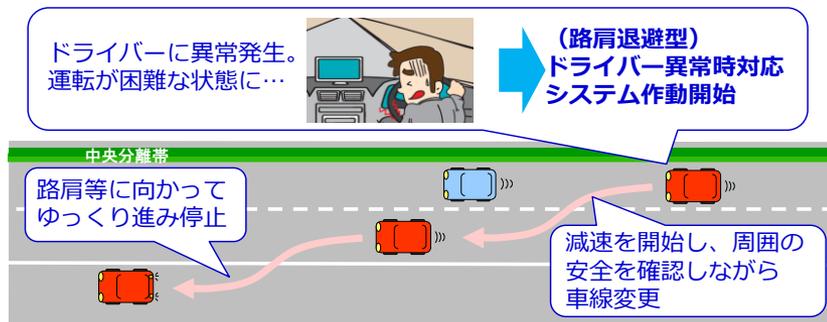
- 車両単体での運転支援システムや通信を利用した運転支援システム等を搭載した先進安全自動車（**A**dvanced **S**afety **V**ehicle）の開発・実用化・普及を促進することにより、交通事故死傷者数を低減し、世界一安全な道路交通を実現
- 特にASV技術について、技術要件の検討を通じてガイドラインを策定し、自動車メーカーによる技術開発の目標設定を容易とすることで技術開発の促進を図る



第6期（2016～2020年度）「自動運転の実現に向けたASVの推進」

（主な検討項目）

- 自動運転を念頭においた先進安全技術のあり方の整理
- 路肩退避型等発展型ドライバー異常時対応システムの技術的要件の検討
- Intelligent Speed Assistance（ISA）の技術的要件の検討
- 隊列走行や限定地域における無人自動運転移動サービスの実現に必要な技術的要件と課題
- 実現されたASV技術を含む自動運転技術の普及



第6期推進計画の進捗状況

- 今年度、5つの基本設計書が策定され、4つの基本設計書が改訂された。
- 今年度は第6期の最終年度であり、現在、次回検討会（令和3年3月予定）に向けて報告書を取りまとめているところ。

基本設計書名		策定・改訂日
策定		
1	統合制御型可変式速度超過抑制装置基本設計書 策定	R2.5
2	ラストマイル自動運転車両システム基本設計書 策定	R2.7
3	ドライバーモニタリング(眠気・居眠り検知)システム基本設計書 策定	R2.10
4	ドライバーモニタリング(脇見等検知)システム基本設計書 策定	R2.11
5	EDSS等附則 作動データ記録装置基本設計書 策定	R2.11
改訂		
1,2,3	ドライバー異常時対応システム基本設計書 (減速停止、発進(高速道路)、発進(一般道路)) 改訂	R2.10
4	ドライバー異常自動検知システム基本設計書 改訂	R2.11